令和８年10月13日（火）
第２回委員会　資料１

吾妻公園文化芸術施設管理運営計画
骨子案について

１．第1回策定委員会の振り返り

1．第1回策定委員会の振り返り

〇運営主体についての検討事項

- 運営における各種事業や収支等に対する市と運営主体の責任分担が不明瞭になることで、責任の所在など、運営の実態に計画がそぐわないという問題が起きることが想定されるため、管理運営計画の中で明確化すべきである。
- 運営状況を適切に把握するためにも、市側において、各機能の専門性や事業内容等を査定できるシステムを構築し、継続的にチェックすることが必要である。

〇管理運営上の検討事項

- 現施設で行われている市民ボランティアによる事業などを精査し、新施設における市民参画のあり方を検討する必要がある。
- 複合施設となり共有・併用するスペースが多く存在するため、予約方法等を先進事例も踏まえてよく検討した方がよい。

〇諸機関との連携・確認事項

- 交通手段を持たない市民にとっては、現施設よりも交通利便性が悪くなり、従来の利用・活動ができなくなること懸念されるため、利便性のあるアクセスの検討が必要である。
- 図書館の移転に伴い、学校司書の負担が大きくなる可能性もあるため、図書館と学校図書室の連携のも図っていく必要がある。
- 各機能が、現在、どのように管理運営されているかということを、情報として確認できたら良い。

既存施設の概要及び運営状況、類似施設事例を共有したうえで、第２回策定委員会では、
第１回策定委員会での議論とこれらの情報を踏まえた基本方針を提示する。

２．教育委員会からの回答

（１）「吾妻公園文化芸術施設の管理運営に係る基本的な考え方（案）」に対する意見について（回答）

○【複合化による相乗効果の発揮と、生涯学習・学校教育の充実・市民サービス向上に資する管理運営】

- 基本的な考え方については同意する。
- これまで積み重ねてきた知識と経験を礎として、図書館・地域交流センター・ホール・交通公園の四機能が複合化することによる相乗効果を最大限に発揮しながら、生涯学習と学校教育のより一層の充実に資するとともに、市民サービスの向上が着実に図られるよう、適切かつ効果的な管理運営の実現を望む。
- 社会教育委員会議からの意見書及び図書館協議会からの答申について十分に考慮すること。
- 管理運営計画策定委員会において示された方針等は、今後も定期的に情報共有すること。

（２）第２回総合教育会議（令和８年９月３０日）

〇主な発言要旨

- 各種専門性を生かしつつ、多くの市民の方々に活用され、暮らしの中に豊かさを感じられる施設になってほしい。
- 社会教育主事、図書館司書等の専門職の確保について、特に適正な人数については、該当する職員の方々の意見も十分考慮した検討が求められる。
- 市民の声が反映されるような評価の仕組みを望む。
- 市民、市長部局、教育委員会の声が、将来にわたって施設運営に反映されるような仕組みやシステムのあり方を整える必要がある。
- 誰もが「ここに行けば自分の居場所がある」、「そこに行けばいろいろな人に会える」と感じられるような、地域のつながりが生まれる施設になればよい。
- アクセス面についても、今後しっかり検討していただきたい。木更津駅からの移動手段や駐車場の整備などについて、利用しやすい環境づくりが求められる。
- 運営について一体的に考えていくことが重要であり、コーディネーターやプロデューサーといった役割、さらには財団による柔軟で継続的な事業展開が有効である。立ち上げの段階では、市職員も深く関わり、これまで行政が培ってきた経験やノウハウを生かしながら、徐々に専門人材を育成・確保していくことが必要になる。

（３）社会教育委員会議意見概要（令和８年８月２０日）

○各機能が繋がり合い、相乗効果を生み出すような施設運営

【複合施設としての一体的な活動と、各機能個別の専門性確保】

- 複合施設であるという特徴を最大限に活かすため、一体的な管理、機能連動によって、相乗効果を生み出すような活動を展開していくこと。
- ホール機能…音響照明等に関する幅広い知見、文化芸術教育面の知識を有した広報係　等
- 図書館機能…自動サービスの提供、郷土資料の保管やニーズに沿った資料提供等を行う司書の配置
- 中央地域交流センター機能…地域の核としてまちづくりや社会教育、生涯学習活動
- 交通公園・公園広場機能…公園の管理に関する専門性、他機能との相乗効果による価値創出

○複合施設全体としての設備管理

【災害時もふまえた施設全体の管理】

- 日常的な居場所となるだけでなく、災害時には指定避難所ともなる施設である。災害時の避難動線に関する十分な配慮が求められる。

○木更津市の未来を担う子ども達のための文化芸術施設

【子ども達の学びの場となる施設】

- ホール機能…著名な音楽家等が使用できる、講演会から音楽コンサート、舞台発表等にまで対応できるような管理運営
- 図書館機能…来館者のニーズ把握、所有資料の照会、利用者の求める以上の情報提供
- 地元木更津で育まれる子ども達がこの施設で活動したいというモチベーションを高める施設、子ども達にとって、より一層の学びの場となるような施設の整備及び管理運営を求める。

○まとめ

- 各機能の現状を踏まえた今後の施設のあり方への意見を要望として提言し、財団法人による一括管理も含めて、今後の吾妻公園文化芸術施設のあり方について協議していくことに賛成する。

（４）図書館協議会答申概要（令和８年６月１３日）

○吾妻公園文化芸術施設における図書館の専門性の位置付について

【高度な専門性と、社会教育施設としての本質的な価値に基づく評価】

- 図書館は高度な専門サービスを通じて、市民の学びと課題解決をさせる社会教育施設である。
- 高度な専門性と倫理性を有する中核的機能…選書、蔵書構成、レファレンス、郷土資料の蓄積
- 図書館法の趣旨をふまえた制度設計や運営体制を構築するべき。

○司書をはじめとする専門人材の継続的な配置および人材育成・継承の在り方について

【専門人材の適切な配置、人材育成やノウハウ継承ができる体制づくり、ボランティア団体との協働】

- 専門人材の継続的な関与、地域との信頼関係構築によって、サービスの質が支えられている。
- 専門人材の必要配置数確保、継続的な研修、人材育成および知識・技術の継承体制が求められる。
- 中核的機能については、経験を積んだ専門人材の継続的関与による判断の一貫性保持が望ましい。
- 専門人材の市職員としての身分の明確化、将来的な復帰やキャリア形成に配慮が必要である。
- ボランティア団体と長年培われた継続的な協働体制、信頼関係の維持、円滑な引継ぎが重要である。

○将来の管理運営を見据えた本質的課題への対応について

【図書館の専門性、継続性、公共性の確保、適切な運営と評価体制】

- **採算性**…図書館法に示されるとおり、採算性を運営の目的としないこと。
- **継続性**…図書館サービスの質が損なわれないような備えを講じ、選書規程の遵守や、郷土資料の取扱いの適正性を担保すること。
- **点検・評価**…教育委員会が関与したうえで、総合的かつ多面的な点検を行うこと。
- **所管および管理運営体制**…重要事項の決定等について教育委員会が継続的に関与できる仕組みを設け、指定管理者制度を採用する場合には、市及び指定管理者において専門職を確保し、相互に連携を図ること。

３．既存施設の概要・利用状況

3．既存施設の概要・利用状況

吾妻公園文化芸術施設管理運営計画において複合される施設機能について、既存施設の利用状況及び運営体制を調査した。

○ **調査対象**

木更津市民会館（中ホール）、木更津市図書館、中央地域交流センター、交通公園の4施設

○ **調査期間**

2023年～2025年度の3ヶ年（4/1～翌年3/31）

○ **調査内容**

施設名	調査内容
木更津市民会館	施設概要、利用者数、稼働率
木更津市図書館	施設概要、貸出人数、貸出冊数、貸出団体内訳、１日あたりの時間帯別貸出人数、年齢別貸出人数
中央地域交流センター	施設概要、来場者数、稼働率、利用者区分別割合、利用時間帯区分別割合
交通公園	施設概要、全体利用者数、年代別利用者数

（１）木更津市民会館（中ホール）

○ 施設概要

大ホール･集会棟、中ホール棟からなる市の中心的施設。
建築基準法改正による耐震診断の結果を踏まえ、
大ホール･集会棟は平成27年3月末を以て利用を停止しており、大ホール機能は他市施設を利用することとして、
現在は中ホール棟のみが利用されている。





木更津市民会館				
建物概要	所在地	千葉県木更津市貝渕２丁目 13 番 40 号		
	敷地面積	24,400.22 ㎡		
	延床面積	6,817.52 ㎡		
施設機能	大ホール･集会棟			
	竣工年	1970（昭和 45）年　※2015（平成 27）年４月から休館		
	建築面積	3,754.46 ㎡		
	延床面積	5,702.00 ㎡		
	構造	鉄筋コンクリート造３階建		
	諸室構成	大ホール	客席	1,134 席
			舞台寸法	W18.1×D10.5×H7(m)
			諸室	楽屋：４
		小ホール	客席	220 席（移動席）
			舞台寸法	W7.6×D3.45×H3.5(m)
		会議室	７室	
		和室	２室	
		展示場	125 ㎡	
	中ホール棟			
	竣工年	1980（昭和 55）年		
	建築面積	1,079.63 ㎡		
	延床面積	1,108.31 ㎡		
	構造	鉄筋コンクリート平屋造、一部鉄骨造 2 階建		
	諸室構成	中ホール	客席	500 人（移動席）
			舞台寸法	W11×D6×H5(m)
			諸室	控室：２

（１）木更津市民会館（中ホール）

○ 市外利用件数

現在大ホール機能が停止されているため、市外施設を利用する場合は補助金の対象となっている。

【市民会館市外利用等補助金の実績】

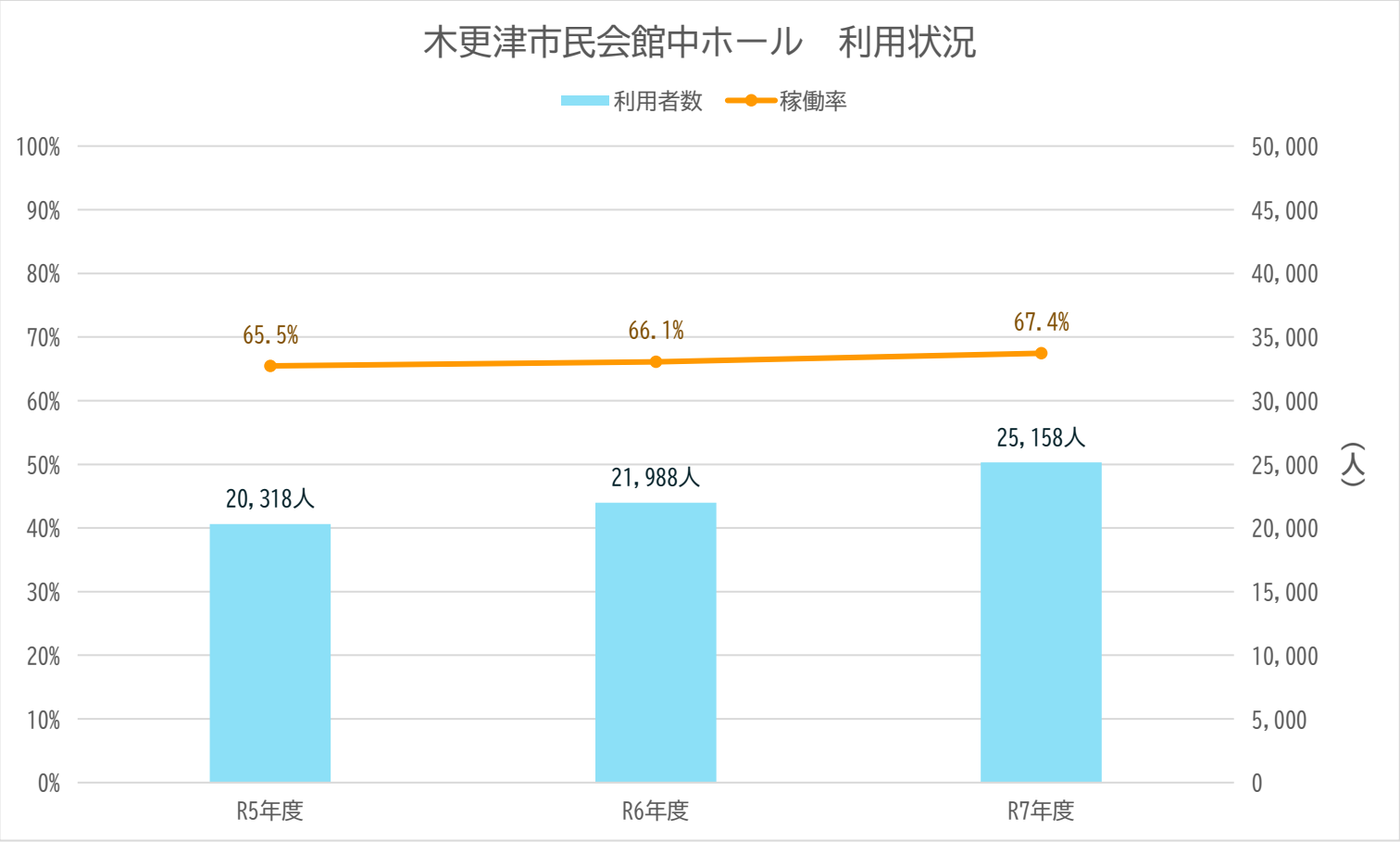
令和５年度…５件（木更津高等学校、志学館中等部、木更津総合高校、紅陵高校、木更津高専）
令和６年度…５件（木更津高等学校、志学館中等部、紅陵高校２回、木更津総合高校）
令和７年度…４件（木更津高等学校、志学館中等部、紅陵高校２回）。

- 利用内容としては、吹奏楽部の定期演奏会や学校の合唱コンクールでの利用が中心。
- 君津市、袖ケ浦市、富津市の施設が利用されている。

（１）木更津市民会館（中ホール）

○ 利用状況

- 利用率は概ね横ばいで推移している。
- 利用者数はR5年度からR7年度にかけて約5,000人増加している。



（2）木更津市図書館

○ **施設概要**

木更津駅近くに位置し郷土資料や、点字資料・録音資料も豊富に備えている。ボランティア団体と連携しながら多様な事業を展開。

分館機能は有していないが、各区の地域交流センターに図書室があり、連携して貸し出しを行っている。

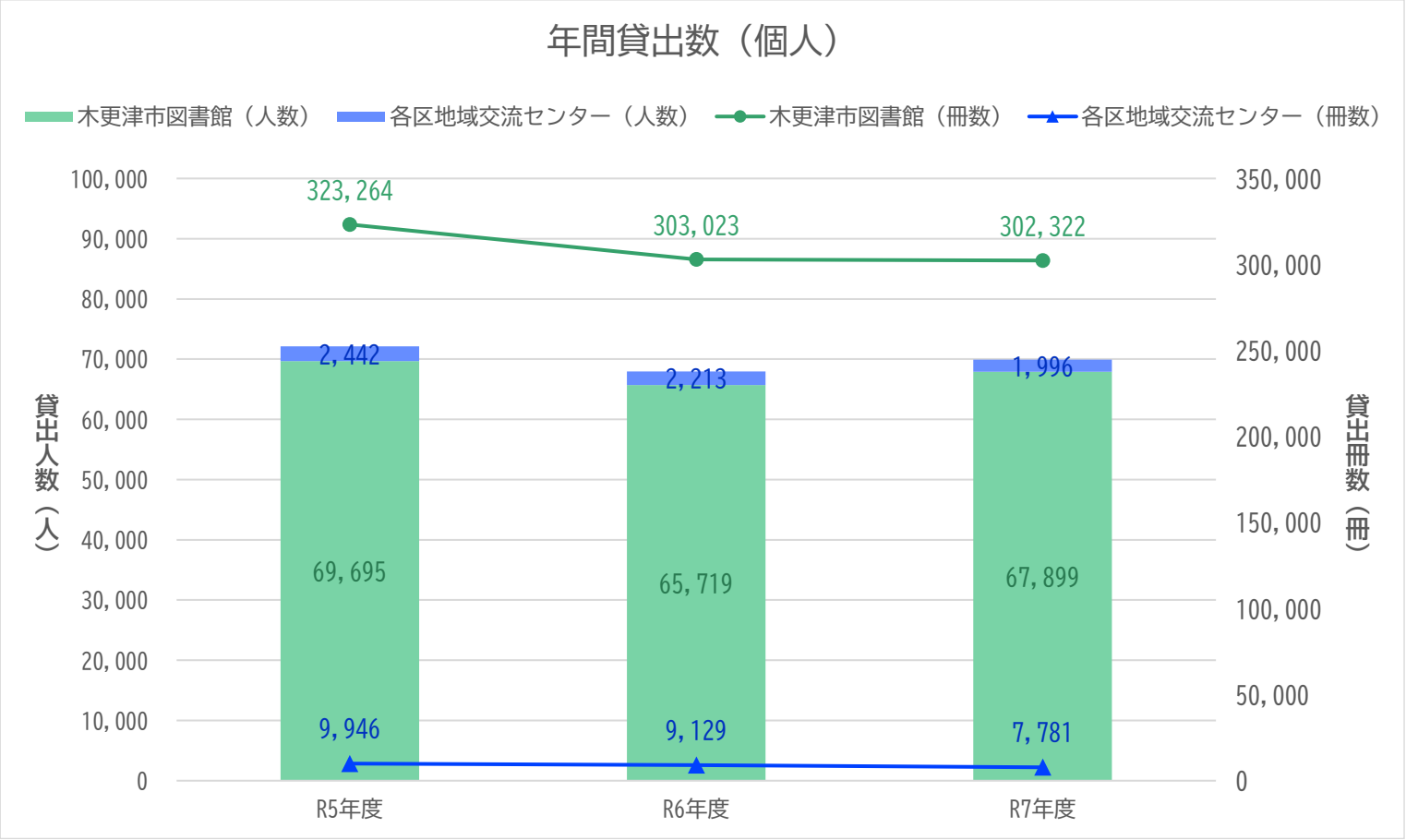
木更津市立図書館（本館）		
建物状況	竣工年	1974（昭和 49）年
	所在地	千葉県木更津市文京 2-6-51
	延床面積	1,855 ㎡
蔵書数	蔵書冊数	約 37 万冊
	人口 1 人当たり冊数	約 2.7 冊



（2）木更津市図書館

○ 年間貸出数(個人)

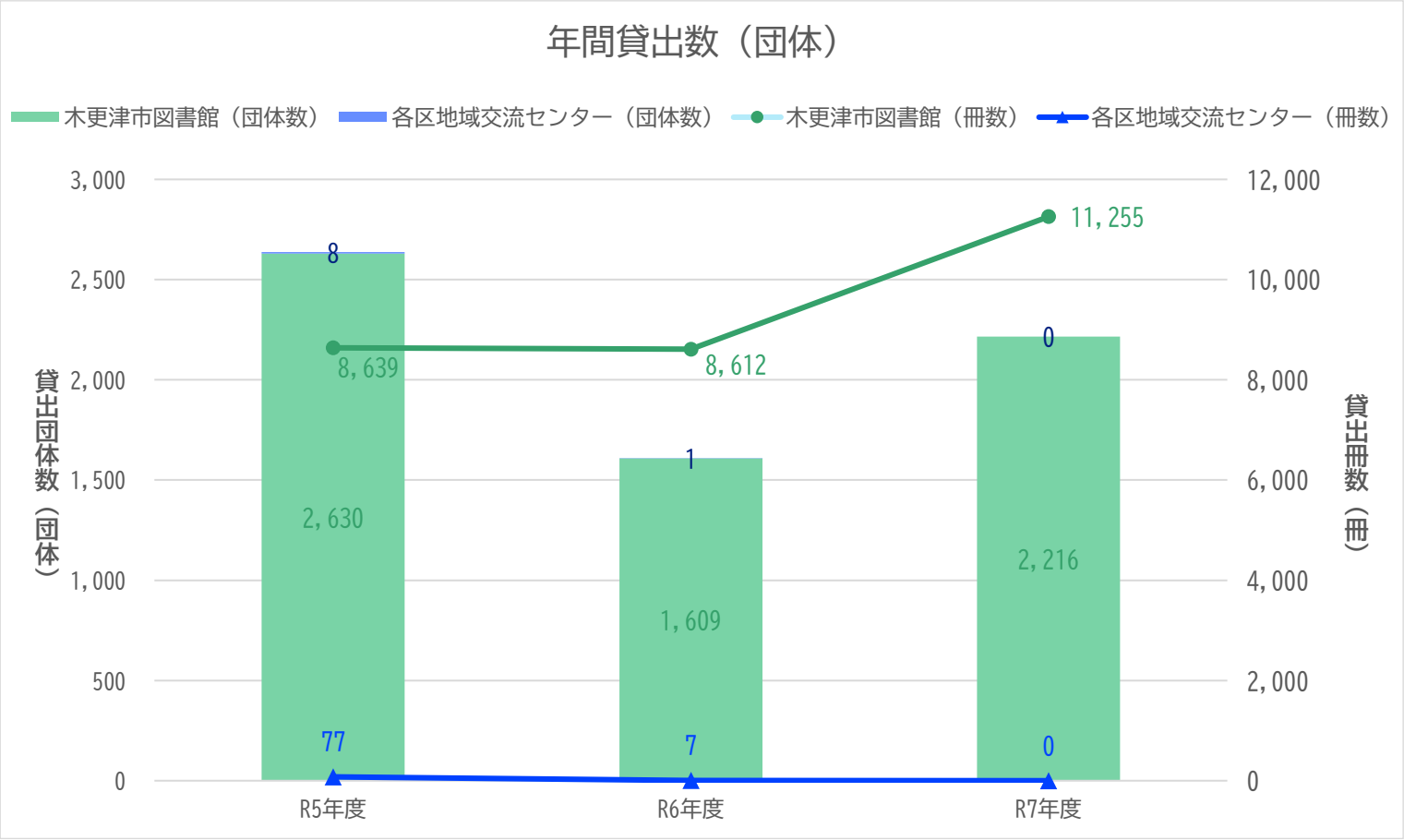
- 全体の貸出数のほとんどを図書館本館が占めている。
- 貸出冊数はやや減少しているものの、約30万冊で推移している。
- 貸出人数は７万人弱で安定して推移している。



（２）木更津市図書館

○ 年間貸出数(団体)

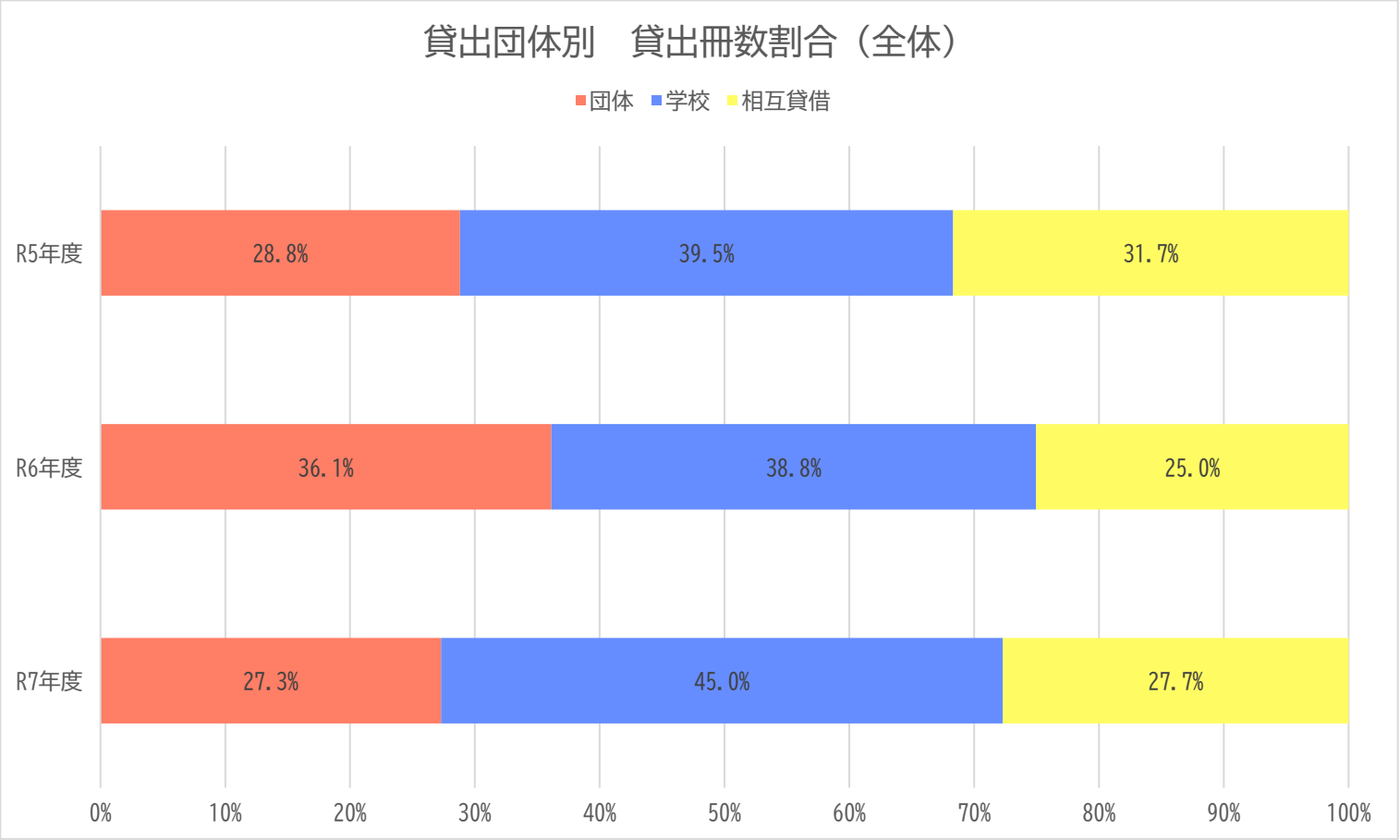
- 全体の貸出数のほとんどを図書館本館が占めている。
- 貸出冊数は令和７年度に増加しており、合計１万冊以上が貸し出されている。
- 貸出団体数は年度によって波がある。



（２）木更津市図書館

○ 貸出団体内訳（全体）

- 団体別割合は学校が最も多く、特に令和７年度は貸出冊数が伸びている。
- 相互貸借も全体の３割を占めており、図書館と各地域交流センターの図書室が連携していることがわかる。

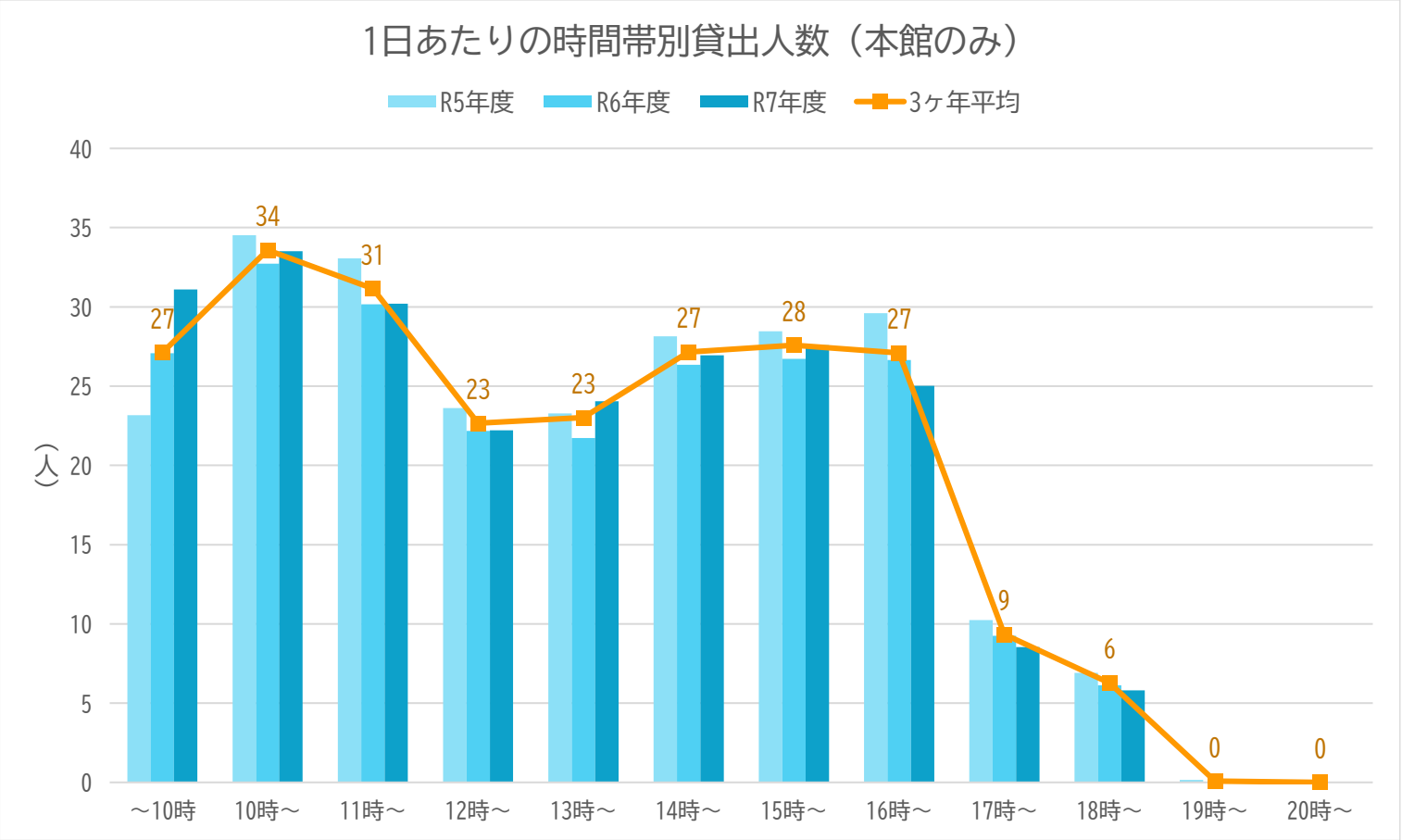


※ 相互貸借（そうごたいしゃく）…自分が普段使っている図書館にない本を、他の自治体や学校などの図書館から取り寄せて借りられる仕組みのこと

（2）木更津市図書館

○ １日あたりの時間帯別貸出人数

- 1日2回、午前と午後に貸出のピークがあり、午前中は10～11時、午後は14～17時が特に多くなっている。
- 3ヶ年を通して午前中の貸出が特に多く、17時以降の夜間帯の貸出人数は少ない。

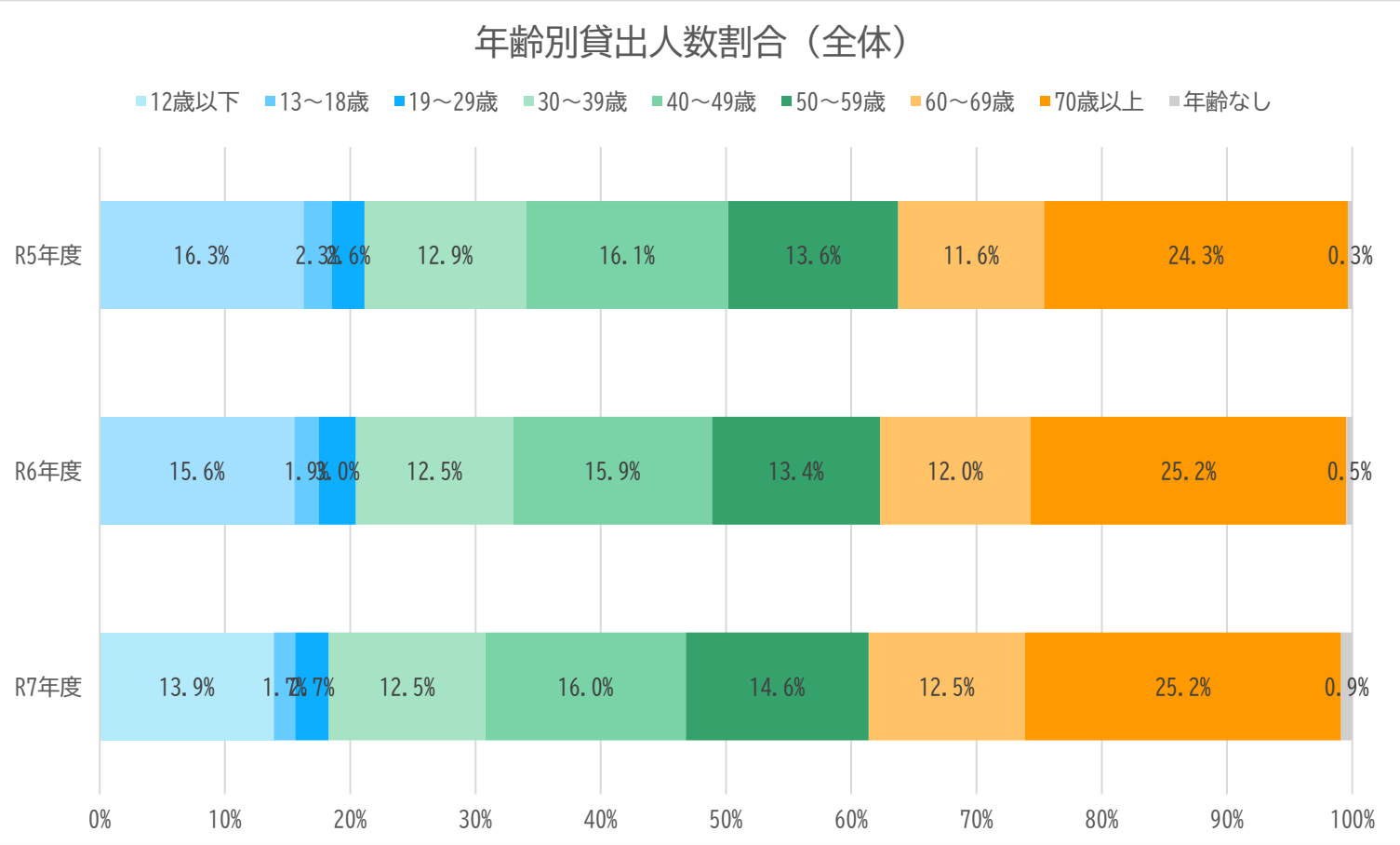


※ 各区の地域交流センターは除く
※ 開館時間：火～金　9:00-19:00、土日祝日　9:00-17:00

（2）木更津市図書館

○ 年齢別貸出人数（個人）

- 年齢別の貸出人数を見ると70代が最も多く、50代以上の利用が全体の半数を占めている。
- 若年層においては12歳以下の割合が多く、絵本や児童書を中心に利用されている。



（2）木更津市図書館

○ レファレンス対応件数

	参考業務受付件数	専任職員	兼任職員
R５	264	1	1
R６	295	1	1
R７	254	1	1

○ 障がい者サービス

	点字図書	大活字本	録音図書
R５	4,527	3,008	2,280
R６	4,691	3,055	2,377
R７	4,748	3,106	2,582

○ イベント実施状況

	一般対象回数	一般参加者数	児童対象回数	児童参加者数
R５	17	362	291	4780
R６	18	966	309	5230
R７	12	1164	312	4969

（3）木更津市中央地域交流センター

○ 施設概要

施設利用の幅を広げるとともに、「地域づくり」や「地域交流」の推進を目的として、市内15館の公民館を令和8年（2026年）4月1日に地域交流センターへ移行した。現在、市内には16館の地域交流センターが設置されている。中央地域交流センターは木更津駅前に位置しており、交通利便性に優れた施設である。

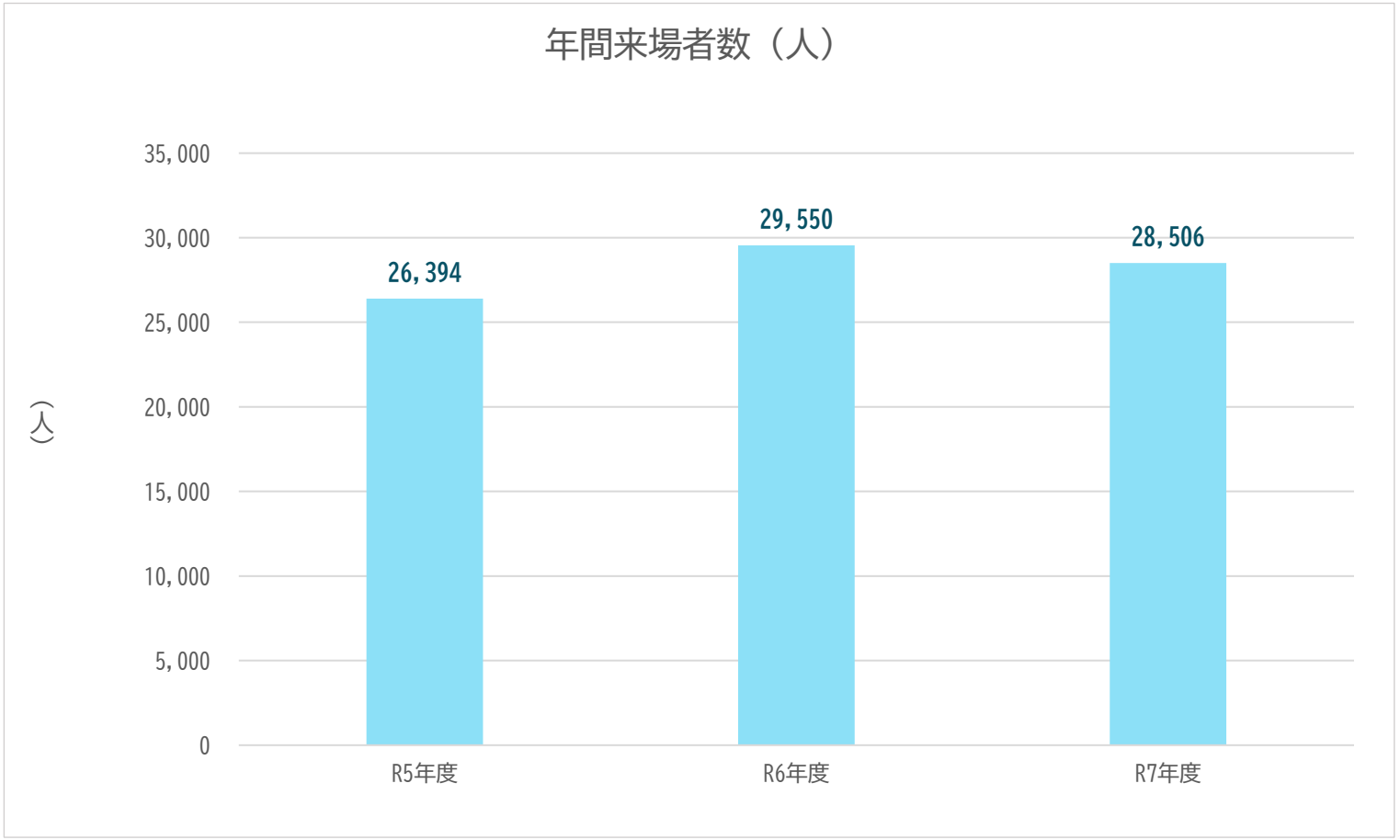


木更津市中央地域交流センター			
建物概要	竣工年度	1987（昭和 62）年度	
	所在地	木更津市富士見 1 丁目 2 番 1 号 スパークルシティ木更津 6 階	
	延床面積	1,342.75 ㎡	
	構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	
施設機能	スパークルシティ木更津 6 階（A 館）		
	室名	面積	人数
	第１会議室	94.74 ㎡	40 人
	第２会議室	94.32 ㎡	40 人
	第３会議室	85.79 ㎡	30 人
	第４会議室	49.54 ㎡	20 人
	第５会議室	53.25 ㎡	30 人
	第６会議室	42.00 ㎡	20 人
	第７会議室	178.24 ㎡	70 人
	アクア木更津 3 階（B 館）		
	室名	面積	人数
	多目的ホール	300.00 ㎡	200 人

（3）木更津市中央地域交流センター

○ 利用状況

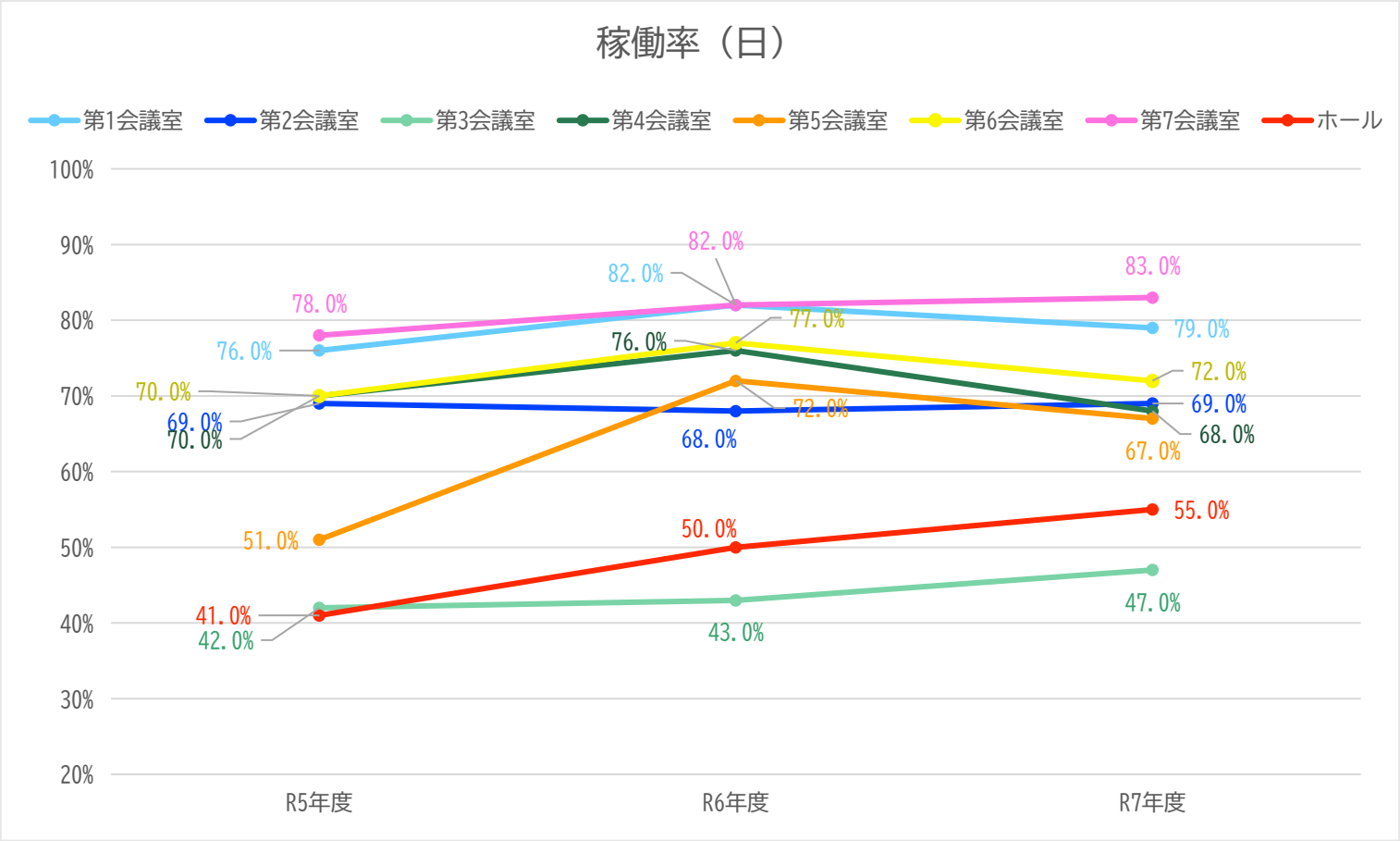
- 来場者数は年間約3万人前後で安定して推移している。



（3）木更津市中央地域交流センター

○ 利用状況

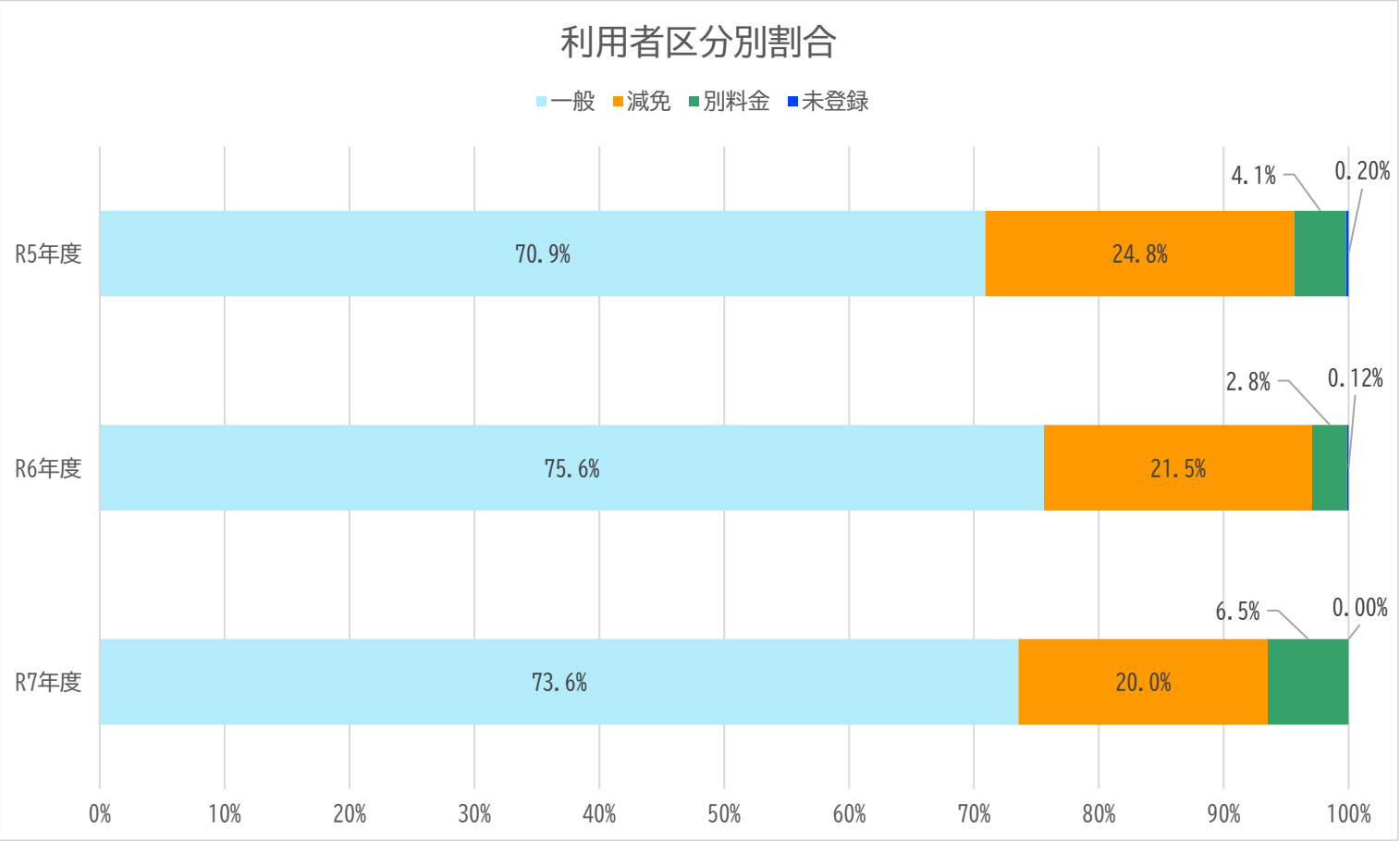
- ホールの稼働率は上昇傾向にある。
- ピアノが設置されている第1会議室、収容人数が最も多い第7会議室の稼働率は8割前後で特に高く推移している。工芸室利用が中心の第3会議室は他と比べて稼働率が低い。



（3）木更津市中央地域交流センター

○ 利用状況

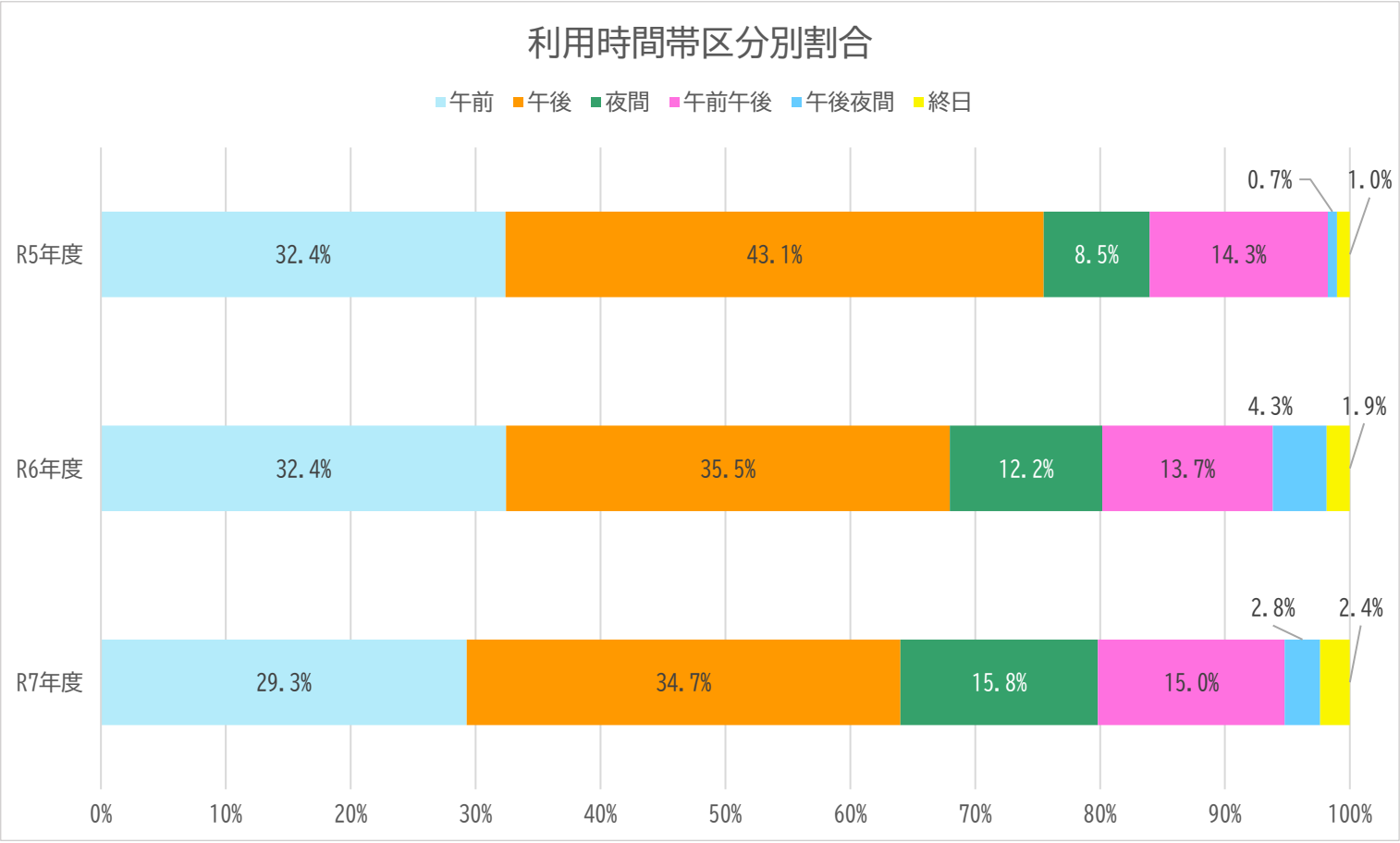
- 利用者区分別では、一般利用が7割以上を占めており、減免利用は2割前後で推移している。



（3）木更津市中央地域交流センター

○ 利用状況

- 1区分のみの利用が全体の8割程度を占めている。
- 1区分のみの利用の内訳は、午後利用が最も多く、次いで午前利用が多い。
- 夜間利用は午前・午後の約半分以下と少ないが、R5年度からR7年度にかけて2倍に増加している。
- 2区分以上の連続利用は全体の2割程度にとどまっており、そのうち午前・午後利用が最も多い。



（4）木更津市交通公園

○ **施設概要**

吾妻公園内に位置する施設。文化芸術施設の建設工事に伴い、令和8年8月31日をもって一時閉園している。

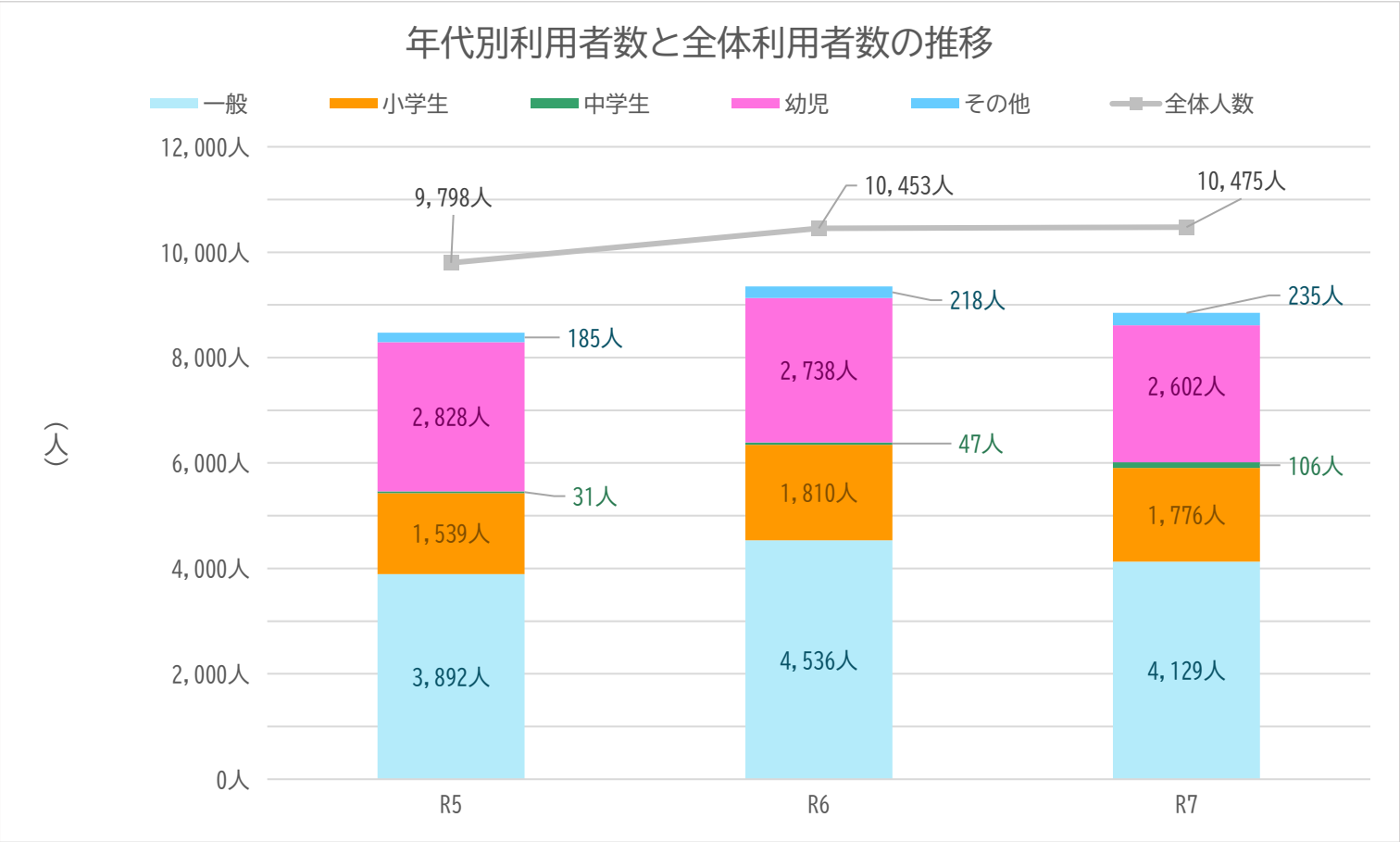
木更津市交通公園				
建物概要	所在地		木更津市吾妻 1-4	
	敷地面積		12,892.00 ㎡	
施設機能	管理棟		車庫	
	竣工年度	1979(昭和 54)年度	竣工年度	1982(昭和 57)年度
	延床面積	174.25 ㎡	延床面積	56.25 ㎡
	構造	鉄骨造	構造	鉄骨造



（4）木更津市交通公園

○ 利用状況

- 幼児、小学生の利用が多い。全体利用者数は3年間で増加し、1万人を超える利用が続いている。



※一般は付き添いの大人の来訪者
※個人 - その他は、市職員や業者など、公園利用目的外の来訪者

４．既存施設の自主事業実施状況

4．既存施設の自主事業実施状況

（1）木更津市民会館（中ホール）

○ 令和７年度　実施状況

鑑賞事業１件と、定期開催のマルシェの計２件を例年実施している。

きさらづ朝市

毎月第1・3土曜日に実施されている定例の自主事業。
ハンドメイド雑貨等の販売やキッチンカーの実施に加え、
野外LIVEを楽しむことができる（1区画出店料500円）。

昭和歌謡コンサート

年２回㈱マイソングエンタテイメントとの共催で実施されている
コンサート。文化芸術に親しんでもらうこと、港町木更津の活性化、
「昭和世代」のコミュニティーの活性化等を目的としている。
【入場者数363人　収入：1,041,050円／支出：994,097円（税込）】





（2）木更津市図書館

○ 令和７年度　実施状況

子どもの読書活動の推進を中心に、学習支援・人材育成、地域交流、体験活動、図書館サービスの充実など、多様な世代を対象とした事業を幅広く展開している。

おはなし会
定例おはなし会（98回 794人）、赤ちゃんといっしょのおはなし会（50回 545人）、保育園訪問おはなし会（30日訪問 64回開催 1,637人）、保育園来館おはなし会（7日来館 10回開催 222人）、大人のためのおはなし会（2回 59人）
講座
絵本講座（開催なし）、児童文学講座（1回 44人）、子ども司書養成講座（1回（7日間） 延べ22人）、ブックスタートボランティア関係講座（スキルアップ講座 延べ52人）、文芸講演会（開催なし）、ボランティア講座（19人）
長期休暇企画
夏休み企画①（5日 65人）、夏休み企画②（2回 59人）、夏休み企画③（2日 2回開催 参加人数24人）、夏休みにおすすめの本の作成
講師派遣事業
学校訪問おはなし会（計18回公演 465人）、公民館親子学級等（計3回）
体験系事業
小中学校職場体験（2校 延べ7人）、小学生によるまち探検（18人）、インターンシップ（2校 延べ9人）、教職員異業種体験（申込なし）、プレジョブ活動支援（申込なし）、他機関連携援助（1回（子育て講座：わかば子育て支援センター））
その他イベント
大人のための絵本セラピー（1回 20人）、ブックスタート（36回開催（月3回） 配布人数 824人）、雑誌と図書のリサイクルフェア（712人）、企画展示、れきおんミニコンサート（2回 44人）、会議室貸出（252件 3,288人）
図書館サービス事業
読書手帳の発行、電子図書サービス（1,164人登録 5,606冊貸出 22,073回閲覧）、図書館だよりの発行（年4回発行）、ブックリストの作成・発行（新しく入った本、おすすめの絵本リスト、高齢者向けブックリスト等作成・配付）、公民館図書整備事業

※青字＝主にボランティア団体と協力しながら実施している事業

（２）木更津市図書館

○ **ボランティア団体との連携**

おはなし会・ブックスタートを始めとした図書館事業は、長年にわたりボランティア団体との連携により実施されている。

- **おはなし会ボランティア**　２団体（てくてくの会、おはなしぽんぽこ）
  ボランティアメンバーを中心におはなし会の実施や保育園への派遣協力を行っている。
- **ブックスタートボランティア**（登録人数　36名）
  乳児健康診査（４か月児健診）で、絵本をひらく楽しい体験と絵本をプレゼントする事業。
  １回につきボランティア4名＋ブックスタート担当の市職員1名を派遣している。
- **音訳の会**（しおさい）
  障害のある人や、活字による読書が困難な人のために、対面朗読サービスや録音資料製作を行っている。その他ボランティア講座の講師派遣等も行う。
- **点訳の会**（きさらづ点訳の会）
  点字絵本や視覚障害者向けの点訳図書を作成・図書館へ提供している。木更津市図書館の点訳図書蔵書数は千葉県で最も多い。

➡ **今後も円滑な引継ぎ及び継続的な協働体制が維持されることが望ましい**

（3）木更津市中央地域交流センター

○ 令和７年度　実施状況

世代別の学級・講座や体験活動をはじめ、地域課題に対応した学習機会の提供を行っている。

また、地域づくりの拠点となることを目的とし、各地域団体の活動における事務局機能を担い、地域の課題解決や活性化につながる事業を実施している。

青少年教育に関する事業：主な取り組み８事業
七夕飾りづくり（1回 15人）、わくわくワークショップ（1回 15人）、電子オルゴールづくり（1回 14人）、クリスマスリースづくり（1回 17人）、正月お飾りづくり教室（1回 8人）、和菓子づくり（1回 14人）、うどんづくり（1回 12人）、こども自然体験事業（7回 79人）
家庭教育に関する事業：主な取り組み３事業
おしゃべりたぬき学級（11回 101人）、ステップたぬき学級（10回 55人）、フリースペース手作りおもちゃ屋（10回 48人）
高齢者に関する事業：主な取り組み１事業
中央ふれあい学級（11回 228人）
地域課題に関する事業：主な取り組み７事業
いきいき健康教室（5回 63人）、中央郷土史講座（8回 148人）、スマートフォン活用講座（1回 11人）、ポランの広場（5回 25人）、クラフト教室（2回 30人）、パッチワーク教室（2回 18人）、著作権講座（1回 42人）
その他の事業：主な取り組み４事業
利用者懇談会（3回 81人）、中央公民館だより（12回）、フリースペース活用事業（22,602人）、図書貸出事業（22人）
各種事務局に関する事業：主な取り組み３事業
中央地区まちづくり協議会（役員会 総会（6回 85人）／コミュニティカフェふらっと（12回 450人）／避難訓練（1回 54人）／移動教室（1回 21人）／中央地区避難訓練（1回 127人））、木更津第一中学区住民会議（総会・役員会・健全育成会議（5回 102人）／わがまちたんけんぽんぽこラリー（10回 211人）／生き生き子ども地域活動促進事業（5回 444人））、第49回中央公民館まつり実行委員会（3回 127人）

※現状各事業は生涯学習課予算で実施。今後市民活動支援課に移行予定。事務局機能に関する予算は市民活動支援課予算。

（3）木更津市中央地域交流センター

○ **地域団体との連携**

地域団体との連携・協力により実施する地域の課題解決及び活性化に資する事業の実施は、地域交流センターの重要なミッションとなっている。

■ **中央地区まちづくり協議会**

自治会をはじめとした、地域内の各種団体により構成され、各団体の取組をつなぐネットワーク機能等を担っている。地域課題に応じてコミュニティカフェや地域のお祭りなどのふれあいイベント、防災イベントの実施

■ **木更津第一中学区住民会議**

青少年育成木更津市民会議を構成する各地区住民会議が、生き生き子ども地域活動促進事業を実施している。地域の青少年育成関係団体や教育機関相互の情報交換を通じて、青少年健全育成のための交流を図っている。

■ **中央公民館まつり**

敬老会と合同で開催し、公民館利用サークルや地域内で様々な活動をしている団体や個人の学習成果の発表と交流の場を提供.

（４）木更津市交通公園

○ **令和５年度から７年度　実施状況**

市内の保育園、幼稚園、小中学校等が市や警察、交通安全協会等と連携して実施する交通安全教室の会場として利用している。

	保育園		幼稚園		小学校		合計	
Ｒ５年度	８件		６件		９件		23件	
	子ども	大人	子ども	大人	子ども	大人	子ども	大人
	199人	28人	424人	53人	475人	144人	1098人	225人
Ｒ６年度	５件		６件		６件		17件	
	子ども	大人	子ども	大人	子ども	大人	子ども	大人
	135人	26人	508人	68人	299人	68人	942人	162人
Ｒ７年度	10件		４件		14件		28件	
	子ども	大人	子ども	大人	子ども	大人	子ども	大人
	242人	75人	360人	55人	675人	220人	1277人	350人

５．既存施設の運営体制

5．既存施設の運営体制

木更津市　４部５課

- 総務部 総務課
- 教育部 生涯学習課（教育委員会）
- 市民協働部 市民活動支援課 / 地域共生推進課
- 都市整備部 市街地整備課

指定管理 ― ホール

- **運営者**
  ㈱ケイミックスパブリックビジネス
- **配置人数**
  館長：１名
  受付担当：３名
  設備担当：２名
  清掃担当：３名
  舞台担当：１名
- **シフト体制等**
  開館時間内でシフト制
  催事により人数変動
- **勤務時間帯**
  シフトによる

直営 ― 図書館

- **配置人数**
  館長：１名
  副館長：１名
  常勤職員：８名
  （うち司書４名）
  会計年度任用職員
  ：８名（うち司書６名、学校司書１名）
- **シフト体制等**
  常時10名前後の職員が勤務する２交代のシフト制
- **勤務時間帯**
  シフトによる

直営 ― 中央地域交流センター

- **配置人数**
  正職員：３名
  （センター長含む、うち１名は再任用）
  会計年度任用職員
  ：２名
  シルバー人材センターからの派遣：計３名
- **シフト体制等**
  ３～５名／日
  曜日ごとのシフト勤務
- **勤務時間帯**
  市職員　8：30～17：15
  シルバー人材センター
  17:15～21:30

直営（業務委託） ― 交通公園

- **委託先**
  木更津交通安全協会
- **配置人数**
  ３名
- **シフト体制等**
  １名／日
  シフト勤務
- **勤務時間帯**
  開園時間に準ずる
  ①４月～９月
  8：30～17：15
  ②10月～３月
  8：30～16：15

直営（業務委託） ― 公園広場

- **配置人数**
  常勤者なし

➡ **指定管理者制度を活用した一体的な管理運営について検討を進めていく**

６．類似他施設の運営体制事例

複合施設の運営主体調査（公立文化施設協会加盟施設より）

『2023年度全国公立文化施設名簿』（公益社団法人全国公立文化施設協会）および全国公立文化施設検索サイトを参照すると、2015（平成27）年以降開館の公立文化施設協会に加盟しているホール施設131件のうち、図書館もしくは公民館（公民館機能を有する施設を含む）が併設する文化施設は全国で36件であった。

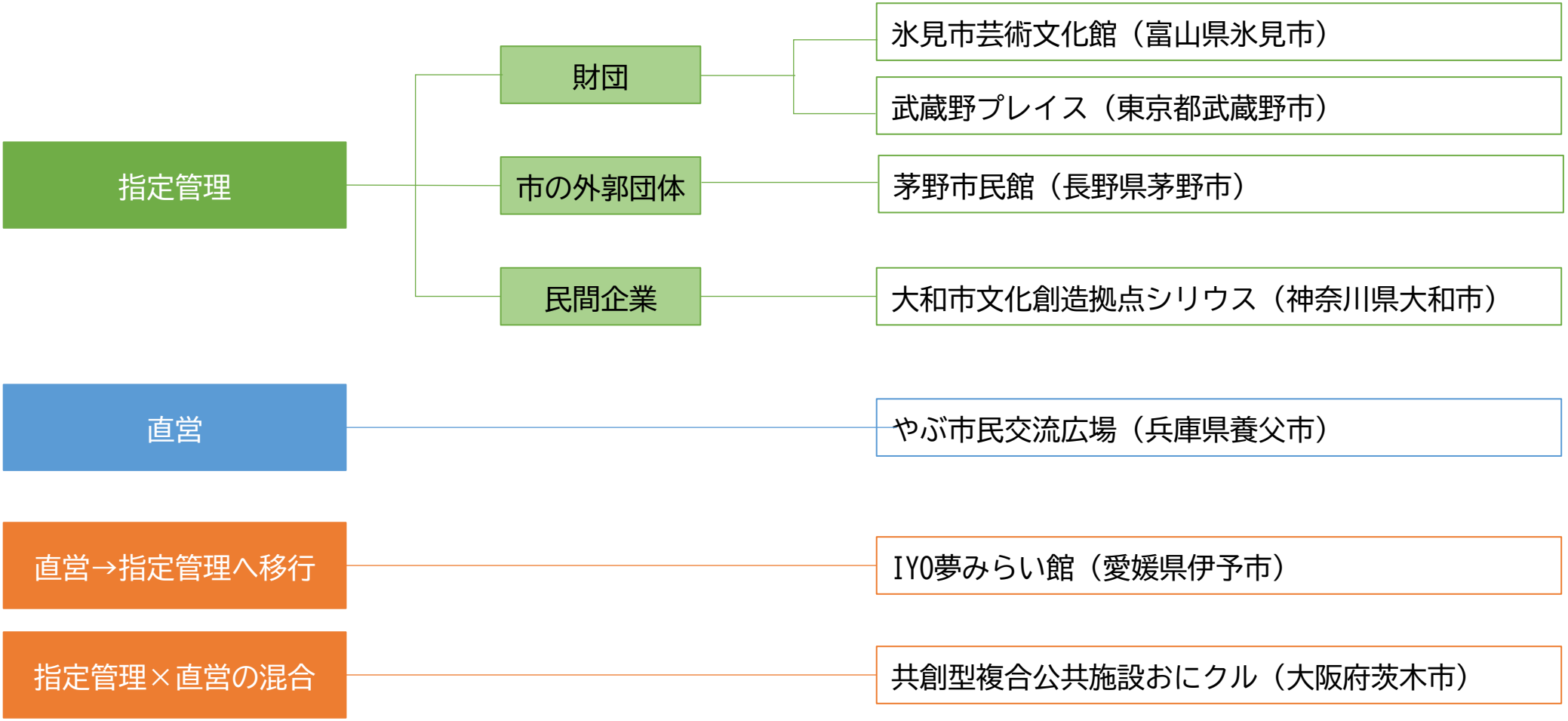
図書館のみを複合している施設は指定管理者制度、公民館のみを複合している施設は直営方式を取る施設の数が多い。図書館/公民館の両方を複合する施設は同数であった。総数としては、指定管理者制度を採用している施設が多くなっている。

併設施設機能	施設数	指定管理	直営
図書館	7件	6件	1件
公民館	15件	6件	9件
図書館＆公民館	14件	7件	7件
合計	36件	19件	17件

『2023年度全国公立文化施設名簿』及び全国公立文化施設検索サイト掲載 施設別複合化件数

運営主体のパターン例

ホール機能、図書館機能、市民活動・生涯学習支援機能のうちいずれか２つ以上を複合している複合施設の運営にあたっては、自治体ごとに各施設に適した運営体制を検討しながら事業が進められている。運営主体のパターン例として以下の施設について紹介する。



財団又は市の外郭団体が運営している複合施設

ホール機能　図書館機能　市民活動・生涯学習支援機能

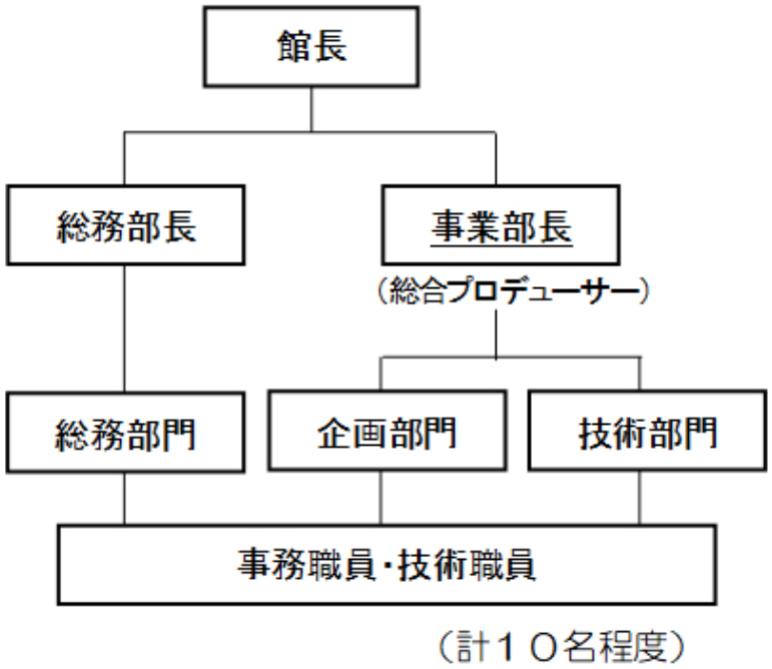
正確には複合施設ではないが、学習・教養講座を実施しているため、「市民活動・生涯学習支援機能」へ色付け

- **氷見市芸術文化館（富山県氷見市）**

地方都市においてはホールを管理運営する専門人材を確保することが難しいため、民間的発想で施設経営を行うとともに各種事業を効果的にプロデュースする専門的人材を確保し、ノウハウを蓄積することを目的として一般財団法人が設立され、指定管理者として運営を行っている。



写真 公式HPより



『財団組織図』より

財団又は市の外郭団体が運営している複合施設

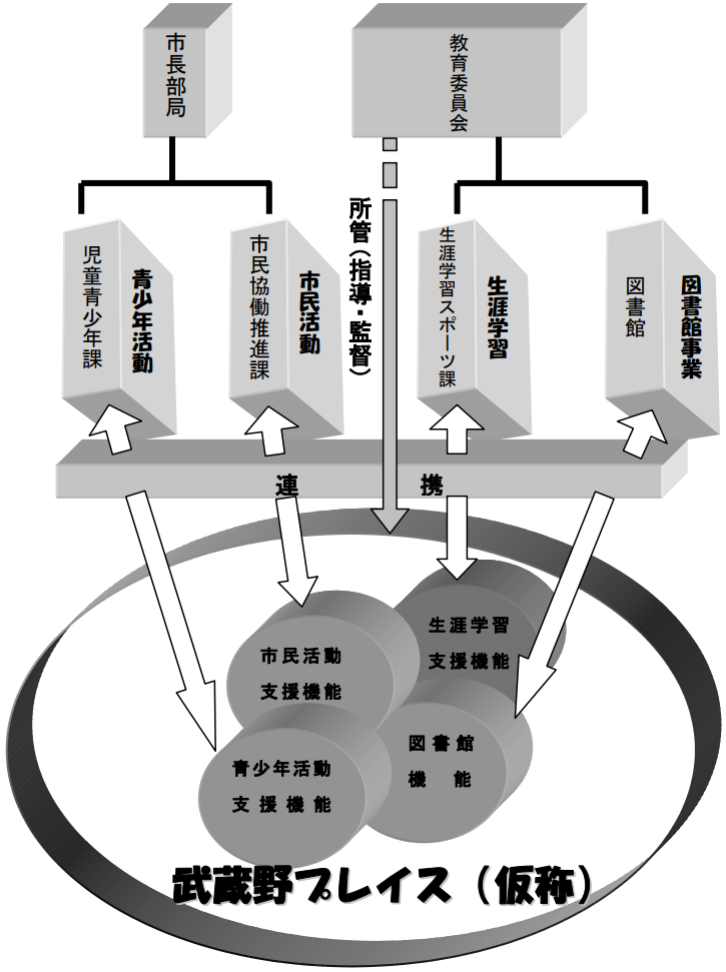
ホール機能　図書館機能　市民活動・生涯学習支援機能

- **武蔵野プレイス（東京都武蔵野市）**

  指定管理者制度を採用することにより、各機能における庁内の担当部署は縦割りではあるものの、直営方式で陥りやすい縦割りの弊害を取り除き、施設機能の一体的な管理・運営を実現している。公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団が管理運営を行っている。



【市及び教育委員会の所管課と武蔵野プレイス（仮称）との連携イメージ】



武蔵野市『武蔵野プレイス（仮称）管理運営基本方針』より

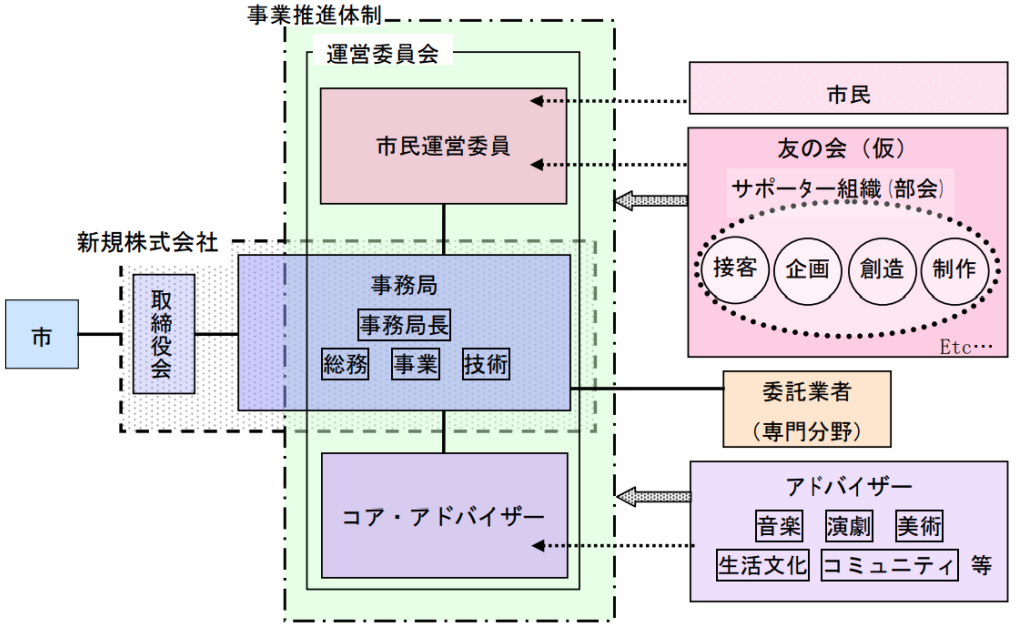
財団又は市の外郭団体が運営している複合施設

ホール機能　図書館機能　市民活動・生涯学習支援機能

- **茅野市民館（長野県茅野市）**

組織の検討では、直営、財団法人、社団法人、NPO法人、PFI、株式会社などあらゆる可能性が検討され、財団法人が最も適した組織であると評価されたが、国の公益法人制度見直しの時期と重なったため、次善の策として株式会社による運営が選択された。複合施設の特性を積極的に活かした一体運営ができる組織を目指し、株式会社地域文化創造（茅野市が100%出資）が設立され、指定管理者として運営を行っている。また、「NPO法人サポートC」が、茅野市民館と協働し、茅野市民館とその利用者のサポートにあたっている。





『新市民会館管理運営計画』より　※開館時点

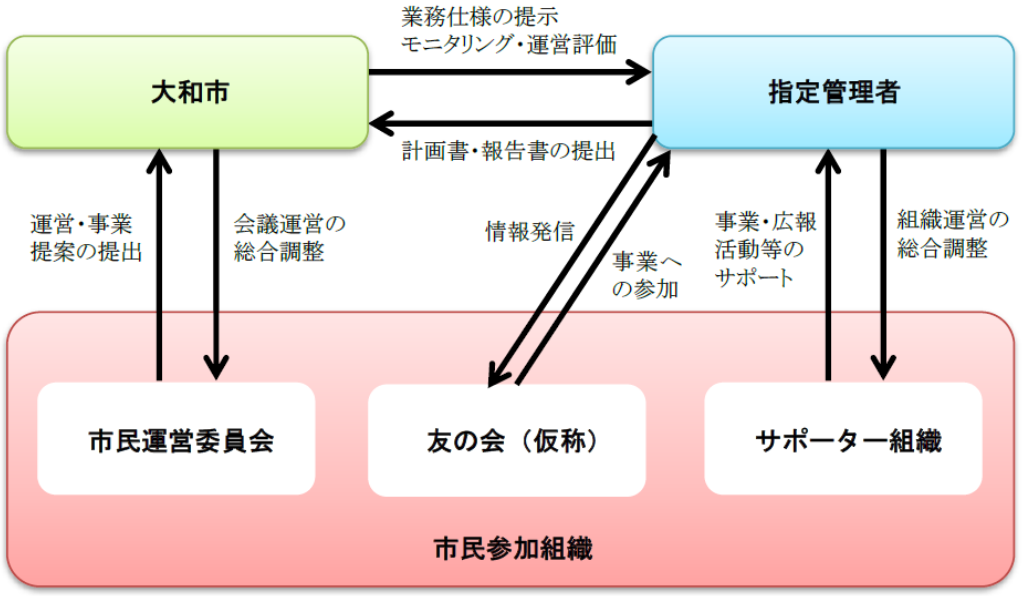
民間企業が指定管理者として運営している複合施設

ホール機能　図書館機能　市民活動・生涯学習支援機能

- **大和市文化創造拠点シリウス（神奈川県大和市）**

拠点であるシリウスと、関連施設とする市内の複数文化施設を、6社の民間企業から成るJVの「やまとみらい」が指定管理者として一括で運営している。大和市は市全体として「つながり」を意識した取り組みを進めており、文化創造拠点等の運営体制の方針においても「一体的な運営」及び「民間活力の積極的な活用」を掲げ、統一した理念のもと、全構成施設を一体的に運営することで、相乗効果を最大限引き出し、全市的な施策展開の拠点とすることを求めている。





『（仮称）やまと芸術文化ホール運営計画等策定支援業務検討結果報告書』より

6．類似他施設の運営体制事例

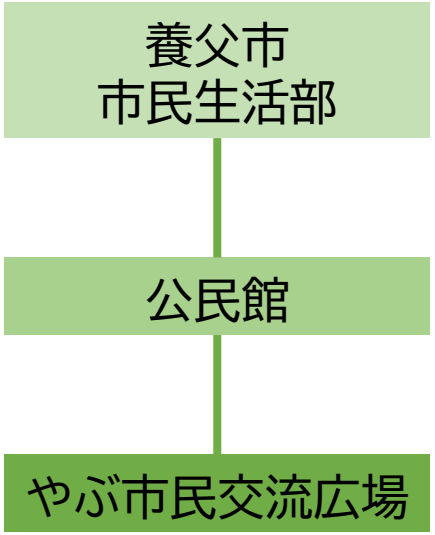
直営で運営されている事例

ホール機能 | 図書館機能 | 市民活動・生涯学習支援機能

- **やぶ市民交流広場（兵庫県養父市）**

ホール・公民館・図書館本館機能・公園の機能を持った複合公共施設。市の文化芸術施策を施設運営に反映することを重視し、直営方式が取られている。基本計画においては専門的な人材を国・県・文化教育機関などと連携を図り外部から招聘しながら事業展開していき、そして将来的には、市職員がその役割を担えるよう育てていきたいとしており、今後の状況の変化によっては、部分的に指定管理者への委託など官民連携を含め、施設の特性に合わせた効率的な運営について適宜検討している。





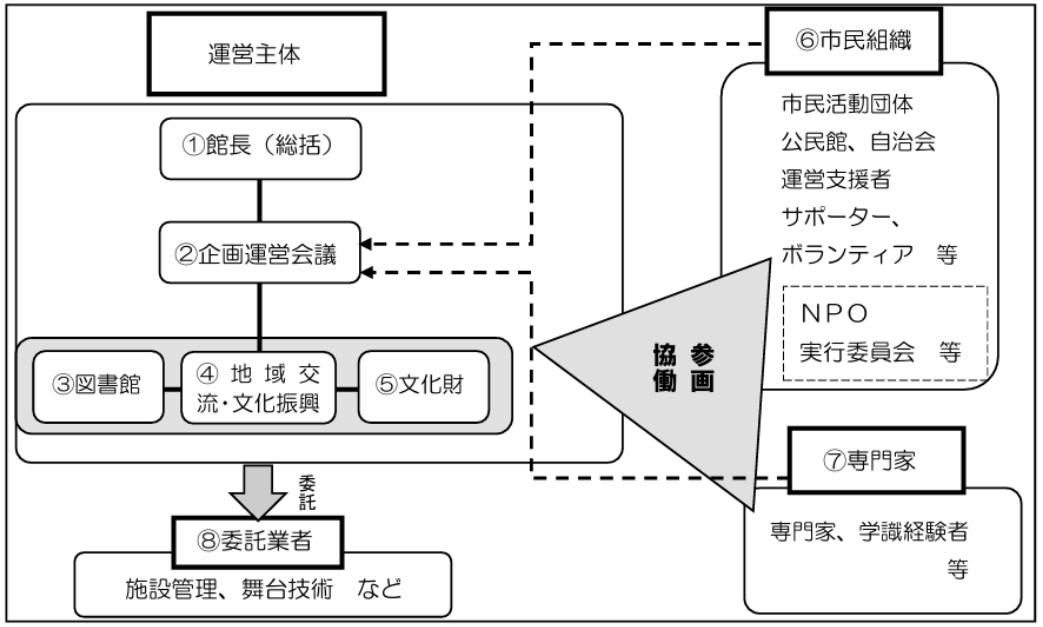
直営から指定管理へ移行した事例

ホール機能 | 図書館機能 | 市民活動・生涯学習支援機能

- **IYO夢みらい館（愛媛県伊予市）**

単なる「貸し館」のみの運営ではなく、短期・中長期的な事業計画や市民協働により文化活動を支援する体制とするため、いくつもの計画段階にわたり、直営か指定管理かという検討がなされた。検討の中で、適正な収支計画の策定、市民の参画と協働の実現、庁内および各機関との連携という管理運営上の懸念点への対策として、市直営での運営期間を設けることで、適正な予算の把握や市民との関係の構築を行いつつ、運営体制の検討を続けることとした。ホールの開館から3年後に指定管理者による運営に移行し、現在も運営されている。





『伊予市図書館・文化ホール等管理運営実施計画』より

指定管理と直営の混合事例

ホール機能 | 図書館機能 | 市民活動・生涯学習支援機能

- **共創型複合公共施設おにクル（大阪府茨木市）**

7階建ての各フロアに様々な機能が複合されており、ホール、広場、市民活動センターは指定管理者制度により民間企業のJVが運営、全体統括及び図書館や子供支援センター運営は市、一時保育室やカフェは民間への委託により運営されている。多主体による縦割り運営を防ぐため、「おにクル会議」と総称される横断的な運営体制を構築している。責任者による意思決定の場、全館的な情報共有の場、分野別ユニットによる検討の場を段階的に設けることで、理念や方針を日常の運営に落とし込んでいる。

指定管理

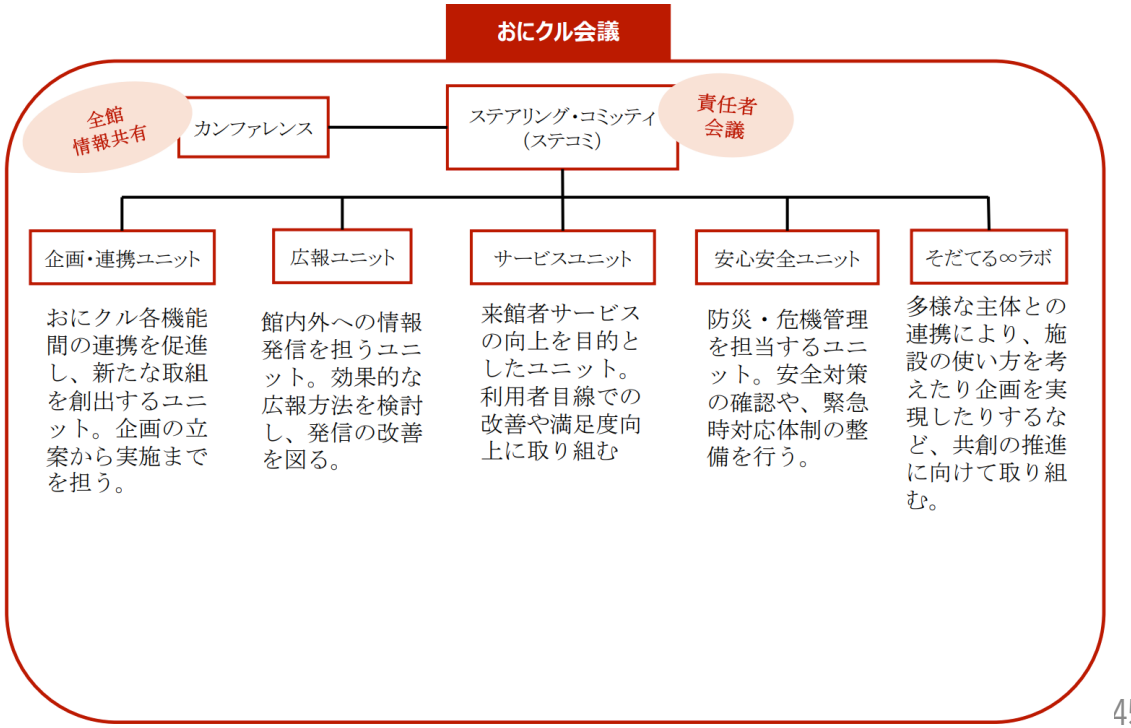
- 全体管理（管理運営、ホール、プラネタリウム、広場、維持管理）
  おにクルみらい《SPS(株)、イオンディライト(株)》
- 屋内こども広場　まちなかの森　もっくる
  まちもりAJグループ《明日香(株)、(株)ジャクエツ》
- 市民活動センター　きゃぱす
  いばらき市民活動推進ネット《NPO法人5者》

市運営

- 全体調整・連携・総括
  共創推進課
- おにクルぶっくぱーく
  中央図書館
- こども支援センター
  子育て支援課

その他

- 一時保育室〈委託〉
  (株)明日香
- カフェ〈目的外利用〉
  (株)オンザテーブル



文部科学省『市民参加と社会実験から生まれた共創型複合公共施設「おにクル」（大阪府茨木市）』より

7．管理運営計画　骨子案

7．管理運営計画　骨子案

別紙参照

８．市民意見聴取の実施概要

8．市民意見聴取の実施概要

市民ワークショップ

- **実施の目的**

文化活動を行っている市民、行っていない市民を含め幅広く参加を募り、多様な価値観や考え方を共有しながら、施設の役割や使い方、利用しやすい施設の在り方について検討する場として、市民ワークショップを実施します。

市民意見を広く収集する機会であるとともに、管理運営計画に関する情報を共有し、市民の理解を深める場として位置付けます。また、計画を自分事として捉える市民の参加を促し、開館後を見据えた継続的な市民参画につなげることを目指します。

- **対象**

木更津市内に居住または勤務・通学している方
（要事前申込・先着40人まで）

- **実施日・実施内容**

第1回　2026年10月21日(水)18:30～20:30
「木更津市・既存施設のよいところ/課題点」
（計画概要説明、施設の位置付け）
第2回　2026年10月29日(木)18:30～20:30
「吾妻公園文化芸術施設でやってみたいこと、やってほしいこと」
（事業計画、組織計画…市民参画）



オープンハウス型説明会

- **実施の目的**

市民ワークショップに参加できない市民や、文化活動に親しみのない市民も含めた、より多くの市民に広く意見を伺うため、オープンハウスを実施します。

- **対象**

聴取対象は限定せず、広く声をかけて意見を伺う（事前申込は不要）。

- **実施日**

2026年10月25日（日）

（1）9:30～12:00　中央地域交流センター

（2）14:00～16:30　木更津市立図書館

- **実施内容**
  - 吾妻公園文化芸術施設整備事業についてポスター等を用いて分かりやすく提示し、市民への説明の機会とする。
  - シールや付箋を用いたアンケートや個別のヒアリングにより、訪れる市民から意見を伺うことで、市民が抱える整備事業への期待や要望を引き出す。

〈聴取方法の例〉

